

平成22年4月1日発行

会員各位

協会だよりー208(4月号)

JCRA(Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

<トピックス>

- 第35期(平成22年度)定期総会が開催されます。
日時:4月26日(月)16:00~19:30
場所:新日鉱グループ六本木クラブ。
4月9日に総会開催の案内・議案書・委任状をお送りいたします。(ご確認ください)
- 資源化実績のご報告は4月28日(水)までメール添付でお願い致します。



都内の桜の名所、千鳥が淵にて3月30日10時ころの撮影です。当日は千代田区さくら祭りの最中、桜は7部咲きと思われませんが、爺、婆のシルバーで満杯でした。

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 経済産業省関係
【予定事項】
- 三. 寄贈文献
- 四. 第21回JSCRA会が終わって
- 五. 事務局より(四月度の予定)
- 六. OBからの近況報告(南極探検記)
- 七. 【雑字】東京都選定歴史的建造物(隅田川の橋)

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー207(3月号)をメール&郵便で送信(3/1)
- ② 平成21年分触媒資源化実績提出依頼書のメール発送(3/1)
- ③ 平成22年度年会費請求書の郵送(3/5)
- ④ 第六回運営委員会
日時:3月19日(金)15:30~17:00
場所:堺化学工業㈱会議室
議題:平成21年度活動総括、来期の体制(案)

- ⑤ 第21回協会コンペ(JSCRA会)の開催
 日時: 3月24日(水)
 場所: 江戸崎カントリー倶楽部(茨城県稲敷市羽賀2048)
- ⑥ 第四回役員会
 日時: 3月29日(月) 10:00~12:00
 場所: ㈱徳力本店会議室
 議題: 第35期総会(事業報告、決算、予算)、他

[予定事項]

- ① 平成22年度委員就任会社へ会長よりの委嘱状発送(4/1)
- ② 会計監査
 日時: 4月6日(火) 10:00~12:00
 場所: 太陽鋳工㈱会議室
 議題: 第34期決算承認
- ③ 第35期定期総会議案書・出欠表の発送(4/9)
- ④ 第35期定期総会及び懇親会
 日時: 4月26日(月) 16:00~19:30
 場所: 新日鋳グループ六本木クラブ

2. 経済産業省(METI)関係 (化学課よりのメール連絡)

●

3. 寄贈文献

- フォーカス・ネド No. 35 2010(3/5)より

新エネ百選

新エネ百選^{*}は全国の新エネルギー等利用に関する取り組みを評価し、経済産業省とNEDOが全国47都道府県から選定したものです。

	太陽	風力	複合	バイオマス	水力	雪氷	温度差	計
計	21	18	19	21	7	8	6	100

^{*}「新エネルギー」とは、新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法で定められています。経済性の面における制約から普及が充分でないものであって、その促進を図ることが石油代替エネルギーの導入を図るために特に必要なものと定義され、現在は10種類が指定されています。

- バイオマス燃料製造(アルコール燃料、バイオディーゼル、バイオガス等)
- バイオマス熱利用
- バイオマス発電、
- 太陽光発電
- 太陽熱利用(給湯、暖房、冷房その他の利用)
- 温度差エネルギー
- 雪氷熱利用
- 地熱利用(バイナリー方式のものに限る)
- 風力発電
- マイクロ水力

①先導的導入事例 風力エネルギー

北条砂丘風力発電所(鳥取県北栄町)
砂丘にそびえる9基の風車が、町財政と地球温暖化対策へ
新風を送り込む



②先導的導入事例 太陽エネルギー

学校法人東北公益文科大学 太陽光発電システム(山形県酒
田市)

“公益”の観点から環境に配慮 太陽光発電で地域の新エネ
ルギー普及を推進する

③先導的導入事例 太陽エネルギー

学校法人中野学園オイスカ高等学校 太陽熱利用／太陽光発電システム(静岡県浜松市)
浜名湖畔のエコスクールから地域、全国、そして世界
へ 新エネルギー設備を活かした環境教育活動の輪が
広がる



④省エネルギー導入事例 BEMS

財団法人聖路加国際病院 BEMS(東京都中央
区)

病院として理想とする環境と省エネルギーシステ
ムの融合 BEMS※導入で、院内全体の継続的

な消費エネルギー低減を目指す

※BEMS: Building and Energy Management System の略

ビルの機器・設備等の運転管理により、エネルギー消費量に削減を図るビル管理システムのこと。

⑤水力エネルギー導入事例 中小水力発電所

新帝釈川発電所(広島県神石郡神石高原町)

既存ダムの未利用落差を有効利用するダム水路式発電所の新設



4. 第21回JSCRA会が終わって

昨年末より企画されていた皆さん待望の江戸崎カントリー倶楽部(茨城県稲敷市)で3月24日(水)コンペが行われました。参加者は現役5名、OB4名の計9人でした。優勝は日揮化学(株)OBの川原晋さん、準優勝は堀化学工業(株)の新崎俊光さんとなりました。残念ながら当日は雨の中でしたが、OBグループよりスタートした進行は順調で無事怪我も無く終了いたしました。参加者のスコアは名譽の為記載いたしません。次回コンペの幹事は川原晋さんと尾沼涼さん(JMJ)の担当で行われます。コースの選定は優勝の川原氏にあり、予定では10月5日(火)真名カントリークラブ(千葉県茂原市)を想定しています。クラブバスは蘇我駅より外房線2つ目の誉田駅から出ており20分でコース着とのことで、西側住まいの方でも便利のようです。今回参加されなかった方も、予定を確保して於いてください。写真はパーティ終了後の呉越同舟の皆さんです。



前列左より西川久雄さん(触媒化成工業(株)OB)、川原晋さん(日揮化学(株)OB)、三浦良雄さん(中外鉱業(株)OB)、後列左より小林尚道(日本無機化学工業(株)OB)、新崎俊光さん(堀化学工業(株))、尾沼涼さん(ジョンソン・マッセイ・ジャパン・インク)、佐藤邦彦さん(日誠金属(株))、細田顕治さん(松田産業(株))、宮崎隆史さん(樹徳力本店)の9名です。

5. 事務局より(4月度の予定)(○は出勤日です)

曜日	月	火	水	木	金	土
1週	3/29	3/30	3/31	1	2	3
	役員会	○	○	×	○	×
2週	5	6	7	8	9	10
	△	会計監査	×	×	○	×
3週	12	13	14	15	16	17
	△	○	×	×	○	×
4週	19	20	21	22	23	24
	○	○	×	×	○	×
1週	26	27	28	29	30	5/1
	35期総会	×	○	昭和の日	×	×

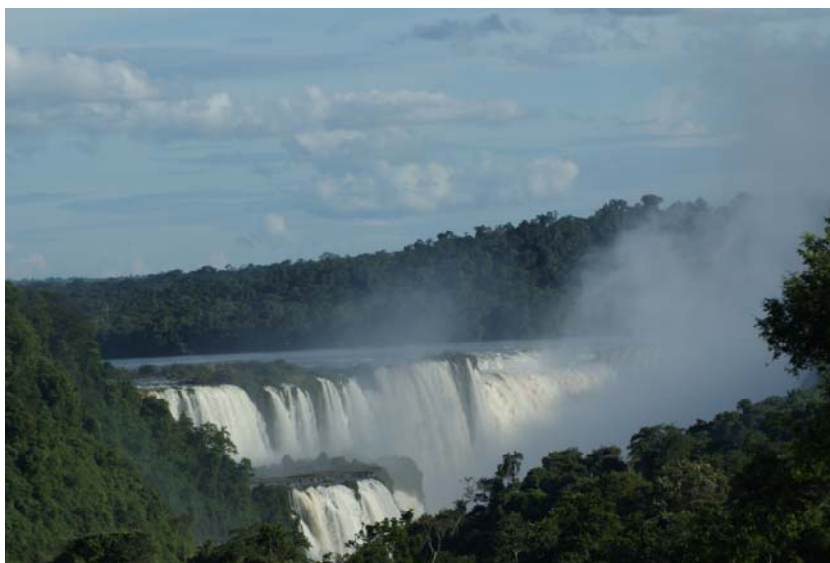
事務局延べ出勤予定：12日(○；終日、△；午前中)

6. OBからの近況通信

➤ 鶴岡 武さん(アジア物性材料学会会長)(元・会長)

南極探検記・南極と世界遺産イグアスの滝 (パート1)

一度極地訪問と思っており、昨年はアラスカでオーロラ見学に成功したので 春先に“よみうりオーシャンクルーズ”に「南極への船旅に」に応募し実現と成った。総勢100人の日本人のみのツアーです。夏と秋に二回説明会を受け準備、現地が夏の1月30日出発となる。成田から直行便で12時間米国アトランタに行き乗り替えて、又直行便で11時間アルゼンチンのBsIs(ブエノスアイレス)にやっと着く。今回せっかくアルゼンチン訪問の機会を得たのでBsIs ミニ観光后、世界遺産イグアスの滝見学をした。2時間程北へ飛びそこに2泊しての滝ツアー。



気温36～41℃と猛暑に閉口するも、ブラジルに入国、巾3kmに渡り幾つかの滝に分かれ高さ90mの膨大な全景を滝の下側から見た。

今年は上流に雨が多く普段の五倍の水量とかで轟音を発し乍ら莫大な水量が流れ落ちており、最大の滝「悪魔の咽笛」は滝壺の深さ25米もあり、正に圧巻である。アルゼンチンに再入国し、今度は滝の上側からの見学し、

最后是滝へのクルージングに参加、雨合羽を着用するもずぶ濡れになる。一日の観光を終えホテルへ戻り大満足であった。尚、此のナショナルパークには沢山の洗い熊が棲息し、人に馴れており、づうづうしい。捕えてその油で石鹸を造ると高級品になる由。長さ2mのトカゲもいる。イグアスの滝はアルゼンチン、ブラジル、パラガイの三国国境にありそれぞれの国で重要な観光地として利用されている。

翌日再度BsIsに戻り国内便で世界最南端ウシュアイア(人口6万人)まで6時間飛んで着く。同国の不毛の地パタゴニア上空を飛行、途中カラファテなる空港で一時間止まるも周辺に何も無く、行った事は無いが地獄みたいな処である。夜遅く目的地に着き、23時夕食をとり一泊する。翌日チリとアルゼンチン国境のビーグル水道湾観光をし、初めて見る海鳥の群や、オットセイハーレムの島等を見学した。市内散策后夕方からいよいよ南極へ向けて乗船する。



砕氷客船クリッパーアドベンチャー号五千トンで一階～四階に客室があり、自分は3Fのデラックスに入る。ビジネスホテル並みで一応全て整っており、窓も普通のサイズ3枚有り明るい。1Fは小さい丸窓一つの由、9日間逗留するので少し贅沢をした。船内サービスは極めて良く、毎日翌日の計画、タイムテーブルを記したレポートが各室に配布され、且つ放送でモーニングコールから始まり、食事、離船上陸、全てが指示された。又、旅行者の知見を豊かにするための白人の学者(海洋生物学、地理学、鳥類学)探検隊長、等による南極講座が毎日開催され、同時通訳で聞くことが出来る。又、訪南極百回と云うプロガイドと昭和基地滞在の経験のある若い日本人女性の極地研究者講話もあった。更に医師も乗船している。食事でコンチネンタルは早朝から利用出来、且つ24時間コーヒー、茶。お湯、水は只で、カップヌードルもあった。レストランは三食全てオーダーメイドで次に例を示すが高級ホテル並であり、全部旅費に含まれている。唯、チップは下船時まとめて一人 U\$150 支払った。

食事メニュー例

- 1) スープ 2) 前菜 (数種から選択) 3) メンディッシュ、ビーフ、魚、ポーク、パスタ、ベジタリアンから選択
- 4) デザートチーズ、ケーキ、アイスクリーム (各数種から選択)
- 5) コーヒー、茶、尚、果物とジュースは皆分けて取る。日本人料理人が一人乗船して時折、そば、カレーライス、寿司、味噌汁が特別に出る。ラッキョウ、佃煮、梅干し、たくわんもある。

事前に得た知識に依ると、我々の向った地は昭和基地の反対側の南極半島である。南極点から離れているので白夜、極夜は無く2月は3時間程の夜があった。どちらを向いても北であり、北向き、北風が暖く台風も時計廻りである。南極の平均標高は2300mと地球上で最も高く、地上の氷の厚さは2700mで土地は氷の重さで沈み海面下1000mが大陸の95%に及んでいる。



南極は世界一寒く最大マイナス89.2度、世界一乾燥しており、世界一風が強く最大瞬間風速61.2m/秒が記録されている。地球上に有る氷の90%と淡水の70%が此の極地に集っている。空気は極めて綺麗で息を吐いても白く成らない。尚、南極の氷が全部融けると海面は70m上昇し地球上の主要都市は海の底に入ってしまう。南極にも火山があり、今回水着を持参したが1～2℃の海水と熱湯が接しており、浜に穴を掘って混ぜないと入浴は無理だが、南極条約で穴掘は禁止となり温泉はあきらめた。扱、これ等の知識を前提として体験記を続ける。次回 5月号 パート2に続く。

空も、氷も、海も限
りないブルー！

7.【雑学】東京都選定歴史的建造物(2)・隅田川の橋を再度視点を変えて

東京都選定歴史的建造物とは、東京都景観条例に基づき選定された建造物で、原則建築後50年を経過していること、東京の景観造りにおいて重要なものであること、できるだけ建築当時の状態で保存されていること、外観が容易に確認できることが選定基準となっています。2009年3月末で79件の建造物が選定されましたが、内6件が重要文化財に指定された為、選定が解除され現在欠番となっています。

先月号で日比谷公会堂を紹介しましたが、隅田川散歩で紹介した橋の中でも東京都選定歴史的建造物があります。27.勝鬨橋、28.永代橋、29.清洲橋は選定されていましたが重要文化財に指定された為、2007年6月18日付けで選定が解除され欠番となった6件の内の3件となりました。現在選定されている橋は30.蔵前橋、31.厩橋、32.駒形橋、33.吾妻橋、34.白鬚橋、77.両国橋、78.言問橋の7橋となっています。東京都選定歴史的建造物という視点から再度、収録してみようと思います。

- ① 【30.. 蔵前橋】・所在地：台東区～墨田区、・建築年：昭和2年、・構造：鋼アーチ橋、RCアーチ橋
選定年：平成11年



橋桁下部の三連アーチ橋が美しく、欄干に相撲のモチーフもあり、橋の色は黄色に塗られています。

- ② 【31. 厩橋】・所在地：台東区～墨田区、・建築年：昭和4年、・構造：鋼アーチ橋
選定年：平成11年



厩橋の裏側はリベット留

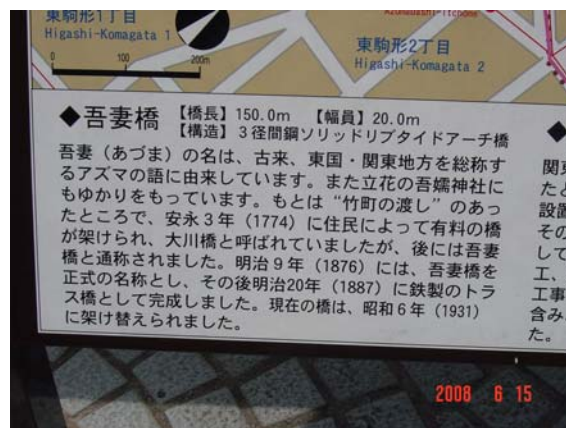
橋桁上部の三連アーチ橋である。橋の色は緑色に塗装されている。

- ③ 【32. 駒形橋】・所在地：台東区～墨田区・建築年：昭和2年・構造：鋼アーチ橋
選定年：平成11年



中央が橋桁上部アーチ、両サイドが橋桁下部アーチの三連橋である。橋の色は明るい青色である。

- ④ 【33. 吾妻橋】・所在地：台東区～墨田区・建築年：昭和6年・構造：鋼アーチ橋
選定年：平成11年



蔵前橋と同じ構造で、橋桁下部の三連アーチ橋である。橋の色は赤色である。

- ⑤ 【34. 白鬚橋】・所在地：台東区～墨田区・建築年：昭和6年・構造：鋼アーチ橋、
鋼トラス橋
選定年：平成11年



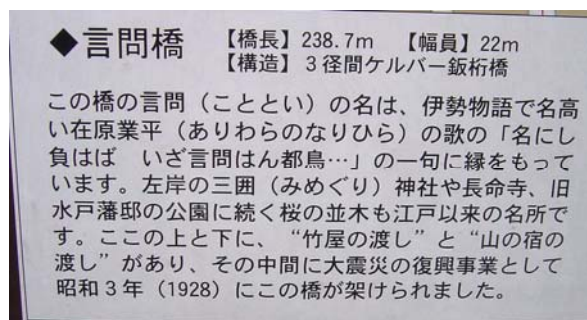
吾妻橋と同年度に架橋され、中央がアーチ橋、両サイドがトラス橋となっている。色は銀灰色。

- ⑥ 【77. 両国橋】・所在地：中央区～墨田区・建築年：昭和7年、
・構造：ゲルバー式鋼板桁橋 選定年：平成20年



橋の色は赤色である。

- ⑦ 【78. 言問橋】・所在地：台東区～墨田区・建築年：昭和3年、
・構造：ゲルバー式鋼板桁橋 選定年：平成20年



橋の色は明るい空色である。

以上、東京都選定歴史的建造物に選定されている7つの橋を再度紹介しました。

【参 考】構造による橋の分類

- 桁 橋： 橋脚の上に桁を渡した最も簡単な形式
- トラス 橋： もっとも安定した構造の三角形を連ねた形式。鉄道橋に多く、三角形の連ね方により、桁橋・アーチ橋ともなる。
- アーチ 橋： 上側への曲線により、圧縮力を受け、橋を支える。
- ゲルバー橋： アーチ橋の一種。弓のように、アーチを弦（タイ）でつないだ形式。勝鬨橋の両側径間、千住大橋など。
- バランスト・タイド・アーチ橋
アーチ橋の一種。タイド・アーチ橋の支点を越え、両側に桁を伸ばした形式。川幅の広いところに架けられ、タイド・アーチ橋より優美で安定感がある。永代橋、白鬚橋など。
- 他に吊橋（清洲橋）、斜張橋（新大橋、中央大橋）がある。

（資料）『隅田川 橋の紳士録』白井裕（1993年、東京堂出版）、他

（文責：専務理事）